

これから これまでと 災害対応の

令和3年8月の
大雨災害から1年

これまで 災害復旧の状況

昨年の大雨で、「公共土木施設(道路や橋、河川など)」と「農地・農業用施設(田畑など主に個人が管理しているもの)」が多数被災しました。現在でも工事が完了していない施設がありますが、今後も市として全力を挙げ、引き続き災害復旧に取り組みます。

これから 災害対応力の強化

昨年の大雨災害では、市の災害対応力にさまざまな課題があることが明らかになりました。今後も起こりうる大規模災害に対し、市民の皆さんをはじめ各方面からの協力を得ながら、環境の整備、対応体制の強化に取り組みます。

これまで

公共土木施設は6月1日時点で復旧工事の発注が全て完了し、平成30年災害と比較して工事は順調に進んでいます。工事の完了は、令和4年度中を目指しています。

公共土木施設の復旧状況

《公共土木施設復旧進捗状況》

	被災箇所	工事発注率	工事完成率
令和3年8月の大雨災害	77	100%	29.9%
平成30年7月豪雨	123	87.8%	12.2%

※災害発生から11か月後



被災時の飛渡訪川(吉田町)

工事完了後

『多治比川』広島県の改良復旧工事

昨年の大雨では、多治比川流域で堤防の決壊や河川の氾濫により、甚大な被害を受けました。今後、同規模の洪水からの被害を防止するため、広島県が河川の拡幅や堤防かさ上げなど、改良復旧工事を計画しています(令和9年度完了を目標)。

これまで

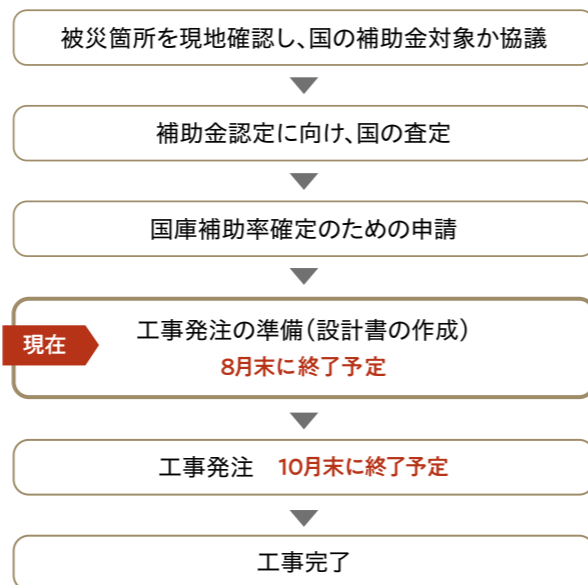
農地・農業用施設はそれぞれ所有者からの申請に応じて順次復旧対応しています。被災箇所の現地確認から工事の発注までに時間を要するため、現時点での発注件数は1件ですが、引き続き、早期の工事完了を目指して取り組みます。

農地・農業用施設の復旧状況

《農地・農業用施設復旧進捗状況》

	被災箇所 (国庫補助対象)	工事発注件数
令和3年8月の大雨災害 6/1時点	149	1
平成30年7月豪雨 災害発生後 R1.6/1時点	89	1

令和3年8月の大雨災害 工事完了までの流れ



これから

災害発生時、被災者が安心して避難所を利用できるように環境の整備を進めています。

避難所の環境整備

《整備状況》 6/1時点

- 昨年災害で不足した避難所用備蓄物資の補充
 - ・毛布を補充【610枚】
 - ・新型コロナウイルス感染症対策や配慮が必要な方へ使用するワンタッチテントを増設【107張】
- 備蓄食糧の品目変更
 - ・避難者が食べやすい食糧に変更【ビスケットからパンに変更】
- 避難所換気対策
 - ・エアコンがない体育館に大型扇風機を整備(換気、暑さ対策)【36台】
 - ・全避難所に二酸化炭素濃度測定器を整備【43個】
- 避難所の停電・照明対策
 - ・非常用発電設備や照明がない体育館に発電機と投光器を整備【インバータ発電機9台・投光器18台】

これから

「集積場」の整備 災害廃棄物

昨年災害時は、災害廃棄物を市内7か所の集積場(総面積22,000㎡)で受け入れました。想定をはるかに上回る廃棄物(平成30年の豪雨災害時の約14倍)が発生し、集積場が不足したため、新たに株式会社ウエストホールディングスと協定を結び、ウエストニュージールランド村ソーラーパーク(10,000㎡)を集積場として確保しています。



これから

さまざまな分野の企業や団体との協定締結を進め、災害対応体制を強化しています。

災害時の協力関係を構築

- 社会福祉法人
安芸高田市社会福祉協議会
安芸高田市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定
- 広島テレビ放送 株式会社
防災パートナーシップに関する協定
- 株式会社 ウエストホールディングス
災害時における応急対策拠点等土地利用に関する協定
- 佐川急便 株式会社
災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定

集積場を募集しています

更なる備えとして候補地を探しています。3,000㎡以上の平地で10tダンプや重機の搬入が可能な、段差のない前面道路がある場所を無償でお貸しいただける方は、下記へご連絡ください。



詳しくは
市ホームページへ

問 社会環境課 環境生活係
☎お太助フォン 42-1126